

MBA 現代経営学演習（2023 年度）

担当教員 忍那憲治

連絡先 kutsuna@kobe-u.ac.jp

1. 授業のテーマと目標

アントレプレナーシップとアントレプレナー・ファイナンスが主な研究対象となる。アントレプレナーシップは企業家活動（企業家精神）と訳されることが多いが、さまざまな側面を持っている。第 1 は、斬新な技術やビジネスモデルの構築によって急成長を目指すスタートアップである。第 2 は、オープンイノベーション他を通じて新規事業創造に取り組む既存の（大）企業である。コーポレート・アントレプレナーシップと呼ばれる。第 3 は、ファミリービジネスの経営者やアトツギが家業の持続的成長や事業承継のためのために行う活動である。ファミリー・アントレプレナーシップと呼ばれる。第 4 は、SDGs や社会的課題の解決を目指す社会企業家としての活動である。ソーシャル・アントレプレナーシップと呼ばれる。第 5 は、大学他の研究成果を元に社会実装を目指す活動である。アカデミック・アントレプレナーシップと呼ばれる。

また、アントレプレナーシップの実践には、企業の各成長ステージの不確実性に対応できるファイナンスの設計（資金調達、投資、配分）が不可欠となる。そうした研究領域は、上場企業の既存事業のファイナンスを基本的な対象とするコーポレート・ファイナンスとは異なり、アントレプレナー・ファイナンスと呼ばれる。

現代経営学演習で取り上げる共通課題については、研究計画書などに基づいて、上記の領域から受講生の関心のあるテーマを設定する。受講生は、共通課題と専門職学位論文の執筆に向けた個人課題の 2 つを同時並行で進めながら、基礎知識の習得を図るとともに、研究課題の明確化に努める。また、専門職学位論文の執筆に向けて、受講生個別の研究テーマを明確にし、分析を進めるためのリサーチ・デザインを検討するとともに、来年 8 月の最終論文提出に向けてマイルストーンを設定し、論文作成に取り組む。

2. 授業のスケジュール

2024 年 8 月の論文提出に向けてマイルストーンを設定し、論文作成に取り組む。現代経営学演習で取り扱うテーマおよびスケジュールについては、下記の表を参照されたい。

2024 年 5 月に専門職学位論文の 1 次原稿の提出、7 月に訂正版原稿の提出、8 月に最終原稿の提出というスケジュールを考えている。質の高い論文にまで高めていくためには、多くのコメントを反映してレベルアップを図っていく必要があることから、5 月に 1 次原稿の完成を目指す。

現代経営学演習のプログラム

第1回【2023年9月16日（土）】

1-2 限の開催

- ①担当教員およびTAの自己紹介
- ②現代経営学演習の目的と進め方についてのイントロダクション
- ③専門職学位論文として取り組みたいテーマについて報告

報告5分、コメント5分。受講生全員が報告

何を明らかにしたいか。それを明らかにすることはなぜ興味深くて重要か。それをどのようにして明らかにするか。この3点を5分の報告スライドにまとめて報告下さい。自己紹介のスライドも1枚含めて下さい。

3-5 限はM2の修士論文報告会（ポスターセッション）に参加

論文執筆に関する課題図書

伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣、2001年。

第2回【2023年10月7日（土）】

- ①専門職学位論文として取り組みたいテーマについて報告

報告10分、コメント10分。受講生全員が報告

自身の研究を進める上で参考になる先行研究をレビューして下さい。先行研究は何をどのような方法で明らかにしているか。先行研究が十分に明らかにできていない点は何か。この2点を10分の報告スライドにまとめて報告下さい。

- ②共通課題についての議論（5限）

「中小企業やベンチャー企業（スタートアップ）の資金調達（仮）」をテーマに、ゲスト講師の講演と議論を行う。

論文執筆に関する課題図書

田村正紀『リサーチ・デザイン』白桃書房、2006年。

第3回【2023年12月23日（土）】

- ①専門職学位論文として取り組みたいテーマについて報告

報告10分、コメント10分。受講生全員が報告

どのようなデータを用いて研究を進めるか。どのような分析手法を行って研究テーマに取り組むか。この2点を10分の報告スライドにまとめて報告下さい。

- ②共通課題についての議論（5限）

「ファミリービジネスの経営や事業承継（仮）」をテーマに、ゲスト講師の講演と議論を行う。

論文執筆に関する課題図書

明石芳彦『社会科学系論文の書き方』ミネルヴァ書房、2018年。

第4回【2024年2月10日（土）】

①専門職学位論文として取り組みたいテーマについて報告

報告 10分、コメント 10分。受講生全員が報告

先行研究に基づき設定した研究テーマについて、リサーチ・デザインを設計し、分析した結果の概要（途中経過）を 10分の報告スライドにまとめて報告下さい。

②共通課題についての議論（5限）

「新規事業の創造とイノベーション（仮）」をテーマに、ゲスト講師の講演と議論を行う。

3. その他

なぜ自分はその研究課題に取り組みたいのか、という問いに向き合うことをまず重視する。その課題に自身に取り組まないことは許されないと思えるぐらいの研究課題なのかを問いかける。次に、そのテーマは学術研究としてどのような視点からどのような分析が行われ、何が明らかになり、何が明らかになっていないかを考える。さらに実践面や現状分析としては、データの収集や分析を通じて、解決すべき重要な課題がどこにあるのかを明らかにする。こうした一連のプロセスは、各人による分析が基本であるが、ゼミ生全体で共有し議論しながら高いレベルの成果を目指す。

社会人として実務に携わる中で、現在皆さんが持っている問題意識を大切に下さい。その上で、その課題を解くきっかけとなる論文が執筆できるように、「優れた論文とはどういうものか」を MBA 在学中に徹底的に考え、実践して下さい。アントレプレナーシップをテーマとするゼミですので、あらゆることに企業家精神を持って取り組んで下さい。